

シェアハウスで共同生活をしながら新規就農を目指す

そうべつちょう

壮瞥町農業研修シェアハウス（壮瞥町）



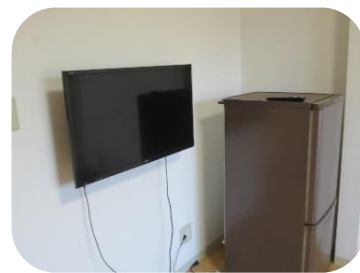
【農業研修シェアハウスの外観】

【施設の概要】

- 名 称: 北海道壮瞥町農業研修シェアハウス
- 開設年: 平成30年4月
- 問合せ: 0142-66-2121
(壮瞥町役場産業振興課 農業振興係)
- URL:
<https://www.town.sobetsu.lg.jp/iju/kyo/2020/05/nogyo-sharehouse.html>

【取組の経緯と概要】

- 壮瞥町内では民間住宅・町営住宅ともに空きがない状況であり、新規就農希望者の受入にあたっては、研修中の住居の確保が課題となっていた。
- 平成29年に町が所有する遊休施設を改築し、平成30年4月、新規就農希望者のための「農業研修生用シェアハウス(部屋数5室)」として運営を開始。
- 運営当初から現在(令和5年11月時点)までの入居者は延べ18名で、現在研修中に入居者は3世帯4名(夫婦一組)。
- シェアハウスの入居期間は最長で2年間、利用料金は水道光熱費、Wi-Fi等込みで1か月1万5千円。
- 入居者はシェアハウスで共同生活をしながら通年で畑作・果樹・施設園芸などの研修を受けることが可能。



【個室の内観 各部屋にテレビ、冷蔵庫付き】

【取組の成果と課題】

- シェアハウス利用者のうち3名が町内の農業法人で雇用就農。
- 現在、町内で新規就農した実績はないが、現在入居中の夫婦一組が令和6年度に耕種農家として就農予定。
- 今後、更なる新規就農希望者への働きかけ方を検討中。

【今後の展望】

- 畑作・果樹・施設園芸など多様な農業が展開されている壮瞥町の魅力をPRしながらシェアハウス利用者の拡大と町内での就農につなげたい。



【共用スペースのリビング】